

大念佛寺仏画群 一括(78点 附6点)

大念佛寺仏画群

だいねんぶつじぶつがぐん

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔絵画〕

所有者

宗教法人 大念佛寺(だいねんぶつじ)

所在地

大阪市平野区平野上町 1

紹介



大念佛寺仏画群のうち阿弥陀如来及八大菩薩画像

融通念仏宗(ゆうづうねんぶつしゅう)の総本山である大念佛寺は、平野区平野上町に寺地をおく。中世の遊行(ゆぎょう)する念仏教団から近世初めに定堂化し、現在の寺地に堂宇を構えた。大念佛寺の仏画では、重要文化財に指定されている明德版本(めいとくはんぼん)の融通念仏縁起(ゆうづうねんぶつえんぎ)がよく知られているが、この他にも、明德版本以外の融通念仏縁起や天得如来(てんとくによらい)など、融通念仏宗特有の画像をはじめ、多数の仏画が伝来している。中世に制作がさかのぼる画像も含まれる市内有数の仏画群である。

用語解説

融通念仏宗(ゆうづうねんぶつしゅう) 良忍(りょうにん、1073～1132)が開祖の浄土教の宗派の1つ。総本山は大念佛寺。

融通念仏縁起(ゆうづうねんぶつえんぎ) 融通念仏宗の由来や開祖良忍(りょうにん、1073～1132)の伝記などを説いた絵巻。

天得如来(てんとくによらい) 十一尊天得如来のこと。阿弥陀及び観音・勢至を含む十一体の奏楽(そうがく)菩薩から構成される融通念仏宗特有の来迎図(らいごうず)。